

第155回京都市中小企業経営動向実態調査

貴社の概要を御記入ください。(該当する箇所には、○印を付けてください。電算処理しますので、お手数ですが漏れなく御回答ください。)

会社名										
経営形態	法人・個人	資本金				万円	電話			—
設立年	(明治以前・明治・大正・昭和・平成・令和)					年	従業員数			人(うち非正規人) ※2
※1 業 種	製造業： A 西陣 ・ B 染色 ・ C 印刷 ・ D 窯業 ・ E 化学 ・ F 金属 ・ G 機械 ・ H その他の製造									
	非製造業： I 卸売 ・ J 小売 ・ K 情報通信 ・ L 飲食店、宿泊 ・ M サービス ・ N 建設									
	観光関係の売上： 1 50%以上 2 25%以上50%未満 3 10%以上25%未満 4 0%超10%未満 5 なし 観光客を対象とする製品を作る製造業、商品を扱う卸売業、小売業及びサービスを提供するサービス業などの売上の割合を指します。									
主な製品、商品、サービス										
御記入者	部課：		役職：		氏名：					

※1 業種の記入につきましては、別紙「記入上の注意」を御覧ください。

※2 非正規・・・パート、アルバイト、契約社員、嘱託社員など

(1) 貴社の経営状況についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください。

項 目	期 間	令和7年4～6月の実績 (前年の同期と比較して)			令和7年7～9月の予想 (令和7年4～6月期と比較して)		
		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
貴 社 の 業 況		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
生産加工量・販売量		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
経常利益(税引前)		増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
製品・加工単価、販売単価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
仕 入 単 価		上 昇	不 変	下 降	上 昇	不 変	下 降
製品・商品在庫量		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
雇 用 人 員		過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
資 金 繰 り		楽	普 通	苦	楽	普 通	苦
同 業 他 社 と の 競 争		激 化	不 変	緩 和	激 化	不 変	緩 和
※「製造業」 を営む方 のみ回答	受 注 残	増 加	不 変	減 少	増 加	不 変	減 少
	生産設備	過 剰	適 正	不 足	過 剰	適 正	不 足
	設備投資	し た	し て い な い		す る	し な い	

(2) 該当するものに○印を付けた理由を御記入ください。

(令和7年4～6月の実績)

(令和7年7～9月の予想)

(3) 貴社の当面の経営戦略についてお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- 営業力の強化(顧客・市場開拓)
- 生産・経営の合理化
- 人材確保・育成
- 新規産業分野への進出
- 自社ブランドの育成
- 新商品の開発・販売
- 研究開発体制の強化
- 情報収集・分析力の強化
- その他()

(4) 貴社の経営上の不安要素をお尋ねします。該当するものに○印を付けてください(複数回答可)。

- 競争激化
- 売上不振
- 人材育成
- 値下要請
- 仕入値上要請
- 原材料(特に)価格上昇
- 金利上昇
- 販売価格安
- 技術力不足
- 後継者問題
- 人手不足
- 人件費増加
- 為替動向
- その他()

お忙しいところ、御協力いただきありがとうございます。裏面の付帯調査についてもよろしく願いいたします。

当調査票は、同封の返信用封筒もしくは FAX にて、業務委託先((株)東京商工リサーチ京都支店 [FAX:211-4788])へ御返送をお願いします。

なお、調査内容に関するお問い合わせは、依頼文に記載の問合せ先までお電話をお願いいたします。

【付帯調査】ケアラーの支援について

貴社の取組状況等についてお尋ねします。以下、A～Iについて該当するものに○印を付けてください。

(注) 以下、設問中の用語説明です。

ケア : 介護、看護、日常生活上の世話その他必要な援助

ケアラー : 高齢、障害、疾病、使用する言語等により援助を必要とする親族、友人や身近な人に対して、無償でケアを提供する者

A. 「ケアラー」という言葉を知っていましたか。

- | | | |
|----------------|---------------|-----------|
| 1. 内容も含めて知っていた | 2. 言葉だけは知っていた | 3. 知らなかった |
|----------------|---------------|-----------|

B. 現在、貴社の従業員の中で、ケアラーはいますか。

- | | | |
|-------|--------|-------------------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない（把握していない） |
|-------|--------|-------------------|

C. 質問Bで「いる（選択肢の1）」又は「いない（選択肢の2）」と回答された方にお尋ねします。

ケアラー本人をどのように把握していますか（複数回答可）。

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 声かけなどにより普段から把握している | 2. 定期的な面談等の機会に把握している |
| 3. 休暇申請等の制度利用の際に把握している | 4. 社内でアンケート等を実施して把握している |
| 5. 本人からの申出により把握している | 6. その他（ ） |

D. 過去3年間に、ケアを理由とした休暇・休業や離職はありましたか（それぞれの項目で御回答ください）。

- | | | | |
|---------------|--------|---------|----------|
| ケアを理由とした休暇・休業 | 1. あった | 2. なかった | 3. わからない |
| ケアを理由とした離職 | 1. あった | 2. なかった | 3. わからない |

E. ケアラー本人からの相談があったときに、どのように対応していますか（複数回答可）。

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 相談窓口の案内 | 2. 休暇・休業の取得促進 |
| 3. 勤務時間や勤務日数の変更 | 4. テレワーク制度（在宅勤務など）の利用促進 |
| 5. 面談・カウンセリング等の実施 | 6. 遠距離介護のための交通費補助 |
| 7. ケア用品購入等の手当の支給 | 8. 特になし |
| 9. その他（具体的に： ） | |

F. 貴社がケアラーを支援するうえで、行政等に求めることについて教えてください（複数回答可）。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 1. 相談窓口の設置・拡充 | 2. ケアラーの支援に関する情報提供の充実 |
| 3. 経営者や管理職向けの研修の実施 | 4. 従業員がケアしている方への支援の充実 |
| 5. ケアラー本人への支援の充実（具体例があれば： ） | |
| 6. 人材確保に関する支援（具体例があれば： ） | |
| 7. 特になし | 8. その他（具体的に： ） |

G. 「京都市ケアラーに対する支援の推進に関する条例」（以下「条例」という）を知っていますか。

- | | | |
|----------------|------------------|---------|
| 1. 内容も含めて知っている | 2. 条例の名称だけは知っている | 3. 知らない |
|----------------|------------------|---------|

H. 質問Gで、「知っている（選択肢の1又は2）」と回答された方にお尋ねします。

条例について、何を通じて知りましたか（複数回答可）。

- | | |
|---------------------|-------------------------|
| 1. 京都市（京都市会）のホームページ | 2. 京都市（京都市会）が作成したリーフレット |
| 3. 関係団体等からの情報提供 | 4. 従業員からの情報提供 |
| 5. 新聞・テレビ等 | 6. 研修会・セミナー等 |
| 7. その他（ ） | |

I. 以下に挙げる京都市の相談窓口等について知っていますか。知っているものに○をつけてください（複数回答可）。

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 区役所・支所保健福祉センター | 2. 地域包括支援センター（高齢サポート） |
| 3. 障害者地域生活支援センター | 4. 京都市外国籍市民総合相談窓口 |
| 5. 京都市子ども・若者総合相談窓口 | 6. 京都府ヤングケアラー総合支援センター |
| 7. いずれも知らない | |